

プログラム

1日目 9月8日(土)

受付 9:00～ 開会: 10:00～

講演、シンポジウム

医学部記念講堂

10:00～10:15 開会式

10:15～10:35 会長講演

座長: 末永 カツ子 (福島県立医科大学大学院)

「つなぐ つむぐ おりなす 放射線看護学 ～すべての看護職の学びの集積から～」

浦田 秀子 (長崎大学大学院)

10:40～11:10 プロローグ

座長: 浦田 秀子 (長崎大学大学院)

「母の思いつなぐ」

大野 洋子 (市川市立高谷中学校特別支援学級補助教員)

11:20～12:20 基調講演

座長: 太田 勝正 (名古屋大学大学院)

「放射線看護に関わる最近の話題と日本放射線看護学会の役割・取り組み」

草間 朋子 (日本放射線看護学会理事長、東京医療保健大学)

13:20～14:20 総 会

16:00～17:00 シンポジウム I

座長: 菊地 透 (原子力安全研究協会)
野戸 結花 (弘前大学大学院)

「多職種連携でつむぐ放射線看護学」

多職種連携でつむぐ放射線看護学: 放射線腫瘍医の立場から

角 美奈子 (がん研有明病院)

原子力災害における放射線防護への取り組み

奥野 浩二 (長崎大学病院医療技術部放射線部門)

がん看護専門看護師活動から考える多職種連携でつむぐ放射線看護

三浦 浅子（福島県立医科大学看護学部、附属病院看護部）

実践－研究－教育でつむぐ放射線看護学

吉田 浩二（長崎大学大学院）

交流集会

ボードインホール

16:00～17:00 交流集会 1

「長崎原爆投下時における看護師宮崎トミホ氏の看護活動を振り返り、 その偉大な功績を偲ぶ」

松成 裕子（鹿児島大学医学部保健学科）

企業展示

医学部記念講堂ロビー、良順会館 1 階ホール

- ・ 東洋羽毛九州販売株式会社
- ・ サウンドヒーリング協会
- ・ ESRI ジャパン株式会社
- ・ 株式会社千代田テクノル
- ・ 宝石のエンジェル

懇親会

ガーデンテラス長崎

18:00～ 懇親会

2日目 9月9日(日)
受付 8:50～ 開会 9:20～

教育講演

アイソトープセンター

9:20～10:20 教育講演

座長：齋藤 美保（長崎大学病院）

「放射線量を読み解き、人体への健康影響を理解する」

松田 尚樹（長崎大学原爆後障害医療研究所）

シンポジウム、講演

医学部記念講堂

9:20～10:20 シンポジウムⅡ

座長：新川 哲子（長崎大学大学院）

堀内 輝子（福島県立医科大学大学院）

「共同大学院の学びからおりなす放射線看護学

～災害被ばく医療科学共同専攻修了生の将来へのビジョン～

学びをつなぎ、行政機関の看護職者として放射線に向き合う

山口 拓允（環境省大臣官房環境保健部放射線健康管理担当参事官室）

災害・被ばく医療科学共同専攻での学びから得たものそして今後への決意

田中 祐大（長崎大学病院）

原発事故後に福島市で生活してきた親子との対話から

安井 清孝（福島県立医科大学医療人育成・支援センター）

行政保健師として～災害・被ばく医療の学びからおりなす～

小野寺 悦子（宮城県登米市市民生活部健康推進課）

10:30～11:20 特別講演

座長：西沢義子（弘前大学大学院）

「原子力災害と向き合って」

山下 俊一（福島県立医科大学、長崎大学）

座長：高村 昇（長崎大学原爆後障害医療研究所）
小西 恵美子（鹿児島大学）

「放射線看護を世界へ発信する」

放射線看護の専門性の確立に向けて

—放射線被ばくと看護診断—

富澤 登志子（弘前大学大学院）

モンゴル1地区での被ばく・緊急対策確立の過程で地域と個人の健康とレジリエンスを強化する

山田 智恵理（福島県立医科大学大学院）

長崎大学・川内村復興推進拠点における放射線看護の国際的な発信に向けた活動

折田 真紀子（長崎大学原爆後障害医療研究所）

看護職として放射線を学ぶこと

～福島、長崎、ロシアでの経験から～

佐藤 奈葉（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科災害・被ばく医療科学共同専攻）

学会企画

ボードインホール

9:20-10:20 学術推進委員会

「放射線看護の臨床研究をかたちにする」

西沢 義子（弘前大学大学院）

交流集会

専齋ホール

9:20-10:20 交流集会 2

「放射線診療における看護師と診療放射線技師の協働」

～各施設の取り組みと課題～

松川 京子（メディポリス国際陽子線治療センター）

12:10~13:10 ランチョンセミナー

共催：株式会社千代田テクノル

「眼の水晶体被ばくに関すること」

犬飼 裕司（株式会社千代田テクノル）

- ・ 東洋羽毛九州販売株式会社
- ・ サウンドヒーリング協会
- ・ ESRI ジャパン株式会社
- ・ 株式会社千代田テクノル
- ・ 宝石のエンジェル

一般演題（口演）プログラム

1日目 9月8日(土)

ボードインホール、専斎ホール

14:20～15:00 口演1群

ボードインホール

[放射線治療と看護①]

座長：佐藤 良信（福島県立医科大学附属病院）

O-01 頭頸部がん化学放射線療法における嚥下リハビリテーション継続を困難にする関連因子

藤岡 美紀 広島大学病院 看護部

O-02 放射性ヨード内用療法を受ける患者のからだ・気持ちの状況と対処行動および看護への要望

及川 真理奈 旭川医科大学病院

**O-03 「がんリハビリテーション」継続に関する看護の方向性の検討
～同時化学放射線治療を受ける頭頸部がん・食道がん患者の思い～**

木津 陽子 札幌市病院局市立札幌病院看護部看護課 6階東病棟

O-04 頭頸部放射線療法による味覚変化を食のQOLの視点から支援する

江崎 博子 独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院

14:20～15:00 口演2群

専斎ホール

[放射線看護人材育成①]

座長：田平 直美（長崎大学病院）

O-05 病棟看護師の放射線治療に関する教育的ニーズ

平 千亜紀 旭川医科大学病院 5階東ナースステーション

O-06 放射線看護教育の構築に関する研究

～教育実践の考察から～

山口 拓允 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 博士課程

O-07 「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」実施状況報告

勝村 庸介 日本アイソトープ協会

O-08 核テロリズム対応の研修会の試みと参加者の関心

井瀧 千恵子 弘前大学大学院保健学研究科

15:10～15:50 口演3群

ボードインホール

[放射線治療と看護②]

座長：上澤 紀子（福島県立医科大学附属病院）

O-09 頭頸部がん患者のセルフケア能力を高める看護

～IASMを用いた振り返り～

加藤 由美子 量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所病院

O-10 外来放射線治療を行う患者への就労支援の現状

鬼塚 智子 福岡赤十字病院

O-11 インフォームド・コンセントの場面におけるがん放射線療法看護認定看護師の同席の現状と意思決定支援への課題

音瀬 穂子 九州大学病院看護部

O-12 通院治療にこだわり完遂した頭頸部がん患者への支援

宮城 智江 琉球大学医学部附属病院

15:10~15:50 口演 4 群

専斎ホール

[放射線のイメージと看護]

座長：永田 明（長崎大学大学院）

O-13 妊娠に気づいた後の妊婦の放射線に関する行動変容

加藤 知子 東京医療保健大学

O-14 放射線以外への使用における被曝という語のイメージ

多賀谷 昭 長野県看護大学

O-15 一般的に放射線と看護が同時に出現する際の文脈とは

前田 樹海 東京有明医療大学看護学部

O-16 人の放射線に対応する力に着目した一検証

佐藤 奈菜 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科災害・被ばく医療科学共同専攻

一般演題（口演）プログラム

2日目 9月9日(日)

ボードインホール、専斎ホール

11:30~12:10 口演5群

ボードインホール

[原子力災害教育と看護]

座長：貞方 三枝子（長崎大学病院）

O-17 日本における原子力災害医療体制に関する実態調査

吉永 健嗣 鹿児島大学病院

O-18 看護師の放射線教育の実態と課題

永富 麻悟 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科修士課程

O-19 九州圏内原子力災害拠点病院における看護師の原子力災害に備えた放射線に関する知識の把握

井手 貴浩 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科修士課程

O-20 院内看護師を対象とした被ばく医療研修の課題への取り組み

佐藤 良信 福島県立医科大学 ぶくしま国際医療科学センター
福島県立医科大学附属病院 看護部

11:30~12:10 口演6群

専斎ホール

[多職種と看護の連携]

座長：吉田 恵理子（長崎大学病院）

O-21 放射線部 CT/MR における PNS 等の導入による看護師と診療放射線部技師との連携の変化（第3報）

大澤 秀子 福井大学医学部附属病院

O-22 核医学検査室における放射線防護に関する看護援助の工夫についての一考察

松田 文菜 北海道大学病院看護部

O-23 原子力施設の放射線管理の経験を通して医療領域の放射線管理を考察

堀田 昇吾 東京医療保健大学

O-24 川内村／富岡町のリスクコミュニケーション拠点の取組

前田 光哉 環境省大臣官房環境保健部放射線健康管理担当参事官室

13:10~13:50 口演7群

ボードインホール

[放射線防護と看護]

座長：松成 裕子（鹿児島大学医学部保健学科）

O-25 病室撮影における患者介助者の被ばく線量

永元 啓介 産業医科大学病院放射線部
産業医科大学産業生態科学研究所放射線健康医学研究室

O-26 視覚に訴える線量報告書「被ばく線量確認書」の試作について

阿部 利明

産業医科大学アイソトープ研究センター

産業医科大学産業生態科学研究所放射線健康医学研究室

O-27 血管撮影に従事する看護師の被ばく防護装具使用状況実態調査

松崎 賢

社会医療法人財団池友会新小文字病院放射線科

産業医科大学産業生態科学研究所放射線健康医学研究室

O-28 血管撮影に従事する看護師に最適な放射線防護衣の選択

茂呂田 孝一

新小文字病院 放射線科

産業医科大学産業生態科学研究所放射線健康医学研究室

一般演題（示説）プログラム

1日目 9月8日(土)

良順会館 1階ロビー

14:20~15:00 示説1群

[多職種とおりなす看護]

P-01 防護服の規格等に関する資料調査

西沢 義子 弘前大学大学院保健学研究科

P-02 放射線管理区域における災害時避難マニュアル作成の取り組み（報告）

ー避難シミュレーションの実施と評価ー

高橋 里美 広島大学病院看護部

P-03 IVR に携わる看護師に求められる看護実践能力

高田 沙織 医療法人財団 荻窪病院

P-04 放射線リスクコミュニケーション場面における質疑・説明内容の分析

山田 基矢 弘前大学大学院保健学研究科

P-05 児頭骨盤不均衡を診断するためのX線骨盤計測の時代的変遷

ー放射線防護の視点から

岩下 恵子 大分県立看護科学大学環境保健学研究室

P-06 高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターの看護師としての活動

山田 裕美子 長崎大学病院
長崎大学原爆後障害医療研究所

P-07 放射線治療室の看護の質向上へ向けた取り組み

土江 真弓 松江赤十字病院

P-08 被爆者健康講話に対する評価と参加者の居住地域の分析

佐藤 奈菜 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

P-09 重粒子線治療看護マップの使用報告

三上 恵子 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所病院看護科

P-10 がん看護専従看護師として配置されたがん放射線療法看護認定看護師としての活動報告

大石 景子 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター

P-11 被ばく医療において医師が期待する看護職者の役割

漆坂 真弓 弘前大学大学院保健学研究科

[放射線看護人材育成②]

P-12 保健師基礎教育における放射線教育プログラムの試行（第1報）

三森 寧子 聖路加国際大学

P-13 保健師基礎教育における放射線教育プログラムの評価（第2報）

江川 優子 聖路加国際大学

P-14 住民対応を主とした放射線教育プログラムでの学び

北宮 千秋 弘前大学

P-15 看護教員の放射線看護教育に関するニーズと課題

野戸 結花 弘前大学大学院保健学研究科

P-16 放射線災害看護教育に必要な知識と実践力

ー計量的テキスト分析からー

佐藤 美佳 日本赤十字秋田看護大学

P-17 看護職に必要な「放射線防護・安全管理」に関する知識を学習するための教育ツールの提案

野戸 結花 弘前大学大学院保健学研究科

P-18 A病院でのIVR担当看護師育成への取り組みと今後の課題

川上 真友華 広島大学病院 SICU

P-19 放射線が関わる課題に架空の家族として決断するプロセスを提供する教材の効果検討

則包 和也 弘前大学大学院保健学研究科

P-20 原子力発電所立地県の看護管理者と看護師における放射線に関する認識と教育ニーズに関する実態調査

山崎 加代子 福井県立大学看護福祉学部

P-21 放射線災害サマーセミナーでの学びがもたらす放射線災害に対する参加学生の認識の変化過程とその影響

福田 桃子 日本赤十字社長崎原爆病院

P-22 「看護職に対する原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」の研修を受けて放射線教育を考える

松尾 帆浪 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
長崎大学病院

一般演題（示説）プログラム

2日目 9月9日(日)

良順会館 1階ロビー

11:30~12:10 示説3群

[放射線治療と看護③]

- P-23** がん放射線療法看護認定看護師によるがん患者指導管理料1算定の現状分析
—放射線治療を受ける患者の不安—
本間 紀子 地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院
- P-24** 苦痛スクリーニング結果からみえてくる放射線治療患者への看護支援の検討
吉田 和代 埼玉医科大学総合医療センター看護部・放射線科外来
- P-25** 放射線療法における85歳以上患者の意思決定の傾向に関する調査
小栗 あゆ子 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター
- P-26** 確実に再現性のある放射線治療を提供するための検討
長井 美和 高松赤十字病院
- P-27** がん放射線療法看護認定看護師として今後の実践と課題
～放射線食道炎の支援を振り返って～
芝 こずえ 公益社団法人 昭代会 今給黎総合病院
- P-28** 陰部・肛門周囲の放射線性皮膚炎に対する保湿剤使用の有効性の検討
～照射開始時からの介入をこころみて～
工藤 知美 札幌医科大学附属病院
- P-29** 緩和照射を受ける患者に対する事前訪問の場面から見た看護師の役割
佐藤 裕美 戸田中央総合病院放射線治療室
- P-30** IVRにおける看護に関する文献検討
北島 麻衣子 弘前大学大学院保健学研究科
- P-31** 頭頸部がん・食道がん放射線治療への看護介入の標準化に向けたケアシートの作成
鍛冶 朋子 長崎大学病院看護部